

第24回 通常総会開催報告

発行者：宮本志音
文責：金ヶ江七海 橘遼太郎

2019年5月28日（火）通常総会が開催されました。総会の成立には組合員の過半数以上の出席が必要ですが皆様のご協力のおかげで組合員総数711名中、424名の出席（書面含む）を集めることができました。ご協力ありがとうございました。ここでは、総会に出席できなかった組合員の皆様に向け、総会の様子と採択された内容をお知らせします。

総会とは

みんなで話し合って決める場所

生協は組合員一人ひとりの「出資」「利用」「運営」で成り立っています。みんなでお金を出し合っただけでなく、その店舗をみんなで使う、さらに使いやすいように店舗を改善していく、このサイクルが生協を成立させています。

今回開催された総会は店舗の改善点やこれからのことを話し合う場所として、組合員一人ひとりの「運営参加」という役割を果たしています。

今回の総会では以下四点の内容を確認、採択しました。

- ・2018年度の振り返り
 - ・2019年度の方針の確認
 - ・役員報酬について・役員選挙について
 - ・グループ討論
- 次年度も組合員皆さんの参加をお待ちしております。

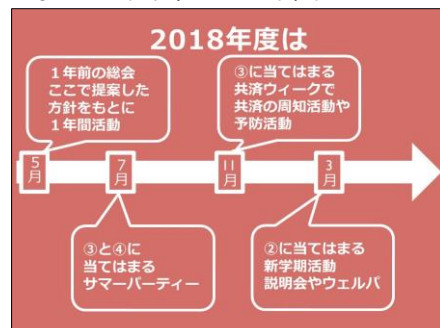


2018年度事業報告（振り返り）

利用率の伸長！多くの組合員が利用する生協に。

学生委員会の事業活動の報告では学生委員会基本方針に基づいて活動したことを確認しました。学生委員の人数も規模も大きくなりこれまでとは違う新たな取り組みも多くすることができました。特に組合員参加型の企画を多く行うことによってより一層貢献できたことも報告されました。

事業の報告では利用率は食堂利用のみに着目すると11%の伸長があったこと、食堂回数券の利用もあり学生の食生活改善事業も広まりつつあること、共済加入者も36人の増加と事業の展開があげられました。その他にも書籍や講座、教習所などの利用も予算の達成が見られました。ですが供給剰余の減少、物件費や人件費の増加が原因となり77万9519円の当期未処理損失金の報告がありました。これらは次期への繰り越しが提案され採択されました。



決算報告

○供給高

53,744,823円

- ・予算対比 +6,555,823円
- ・前年対比 +1,880,838円

2018年度損失処理案

当期未処理損失金
779,519円

このまま次期に繰り越すことを提案します。

第24回通常総会開催報告

2019年度活動計画（方針の確認）

活動をするうえで、大切にすること

総会で決まったことのここから1年間、生協がどう動くかというものです。奈良県立大学生協としての「方針」、奈良県立大学生協学生委員会としての「方針」が提案後、採択されました。

2019年度奈良県立大学生協方針

協同の精神を大切にし、組合員全員で作り上げる生協を目指します。

- 基本方針① 組合員の声を大切にした運営を行う
- 基本方針② 年間を通して学生の学びと成長を促す
- 基本方針③ 組合員ひとりひとりが自分の生活を考えられるきっかけを与える
- 基本方針④ 受験生・新入生やその保護者の不安を解消する
- 基本方針⑤ 大学・理事・他団体との連携をさらに深める
- 基本方針⑥ 店舗運営のレベルを向上させ、適正な剰余を残す

この方針には、奈良生協に関わる全ての人の手で創りあげる奈良らしい生協にしたいという想いが込められています。

2019年度予算案	
年間供給高	55,523,000円
当期剰余金	350,000円

・供給高は2018年度の実績をベースに確実に達成できる目標額を予算化した。
・日常利用の利用を更に伸ばさせること、教習所や各種講座などの広報宣伝を強めることで利用促進を図ること、などで予算達成を目指す。
・きちんと供給剰余が取れるように、店舗オペレーションの見直しを行います。また、人件費削減に努めます。



2019年度奈良県立大学生協学生委員会方針

常に組合員の中心にある 生きた生協 活かす生協 つながる生協

- 基本方針① 組合員の声を集め、それらを活かした活動を行う
- 基本方針② 年間を通して組合員に生協のサービスを周知しより利用を促進する
- 基本方針③ 集めた声をもとに学生の現状を捉え、より良い生活を実現できるように提案する
- 基本方針④ 受験生・新入生・保護者のことを考え必要な情報を提供する
- 基本方針⑤ 大学や学内諸団体との連携を強化し奈良県立大学全体を盛り上げる
- 基本方針⑥ 組合員が社会に生きる一員として関わるきっかけを作る

学生委員会基本方針
常に組合員の中心にある 生きた生協 活かす生協 つながる生協

学生委員会の2・3回生での議論をもとにつくられました。人数やキャラクターの多様性を生かし、積極的に活動します！



奈良生協は設立25周年を迎えます。

25周年 メモリアルYEAR

- 奈良県立大学生協が25周年を迎えることができたのは、皆さんが毎日利用・運営に参加してくれたおかげです。
- 日頃の皆さんの利用に感謝しつつ、記念すべき1年を皆さんと楽しめるように、いろんなメモリアル企画を実施します！
- メモリアル企画は、理事会・学生委員会と話し合いながら、作っていきます。皆さんのアイデアもぜひお寄せください。

奈良生協は今年で設立25周年を迎えます。設立からこれまで組合員が出資し利用を続け運営に参加をしてきたからこそ今の私たちの大学にも生協があり続けています。今年はそのお祝いも込めて25周年の企画を実施しメモリアルイヤーと一緒に盛り上げませんか？
皆さんもぜひ「県大声」などで声をお寄せください！

第24回通常総会開催報告

役員報酬・役員選挙について

日々の運営を任せる

組合員を代表して日常的に集まって運営の意思決定をする、「理事」や「監事」といった役員の年間報酬について提案され、2018年度も全役員が報酬0円で任務を遂行することが決まりました。

また今年度の「理事」「監事」の選挙も行い候補者全員が着任いたしました。

グループ討論について

組合員みんなで生協のことを考える。

昨年に引き続き、総会でのグループ討論を今年も実施いたしました。特に今年は出席確認書や議案書ダイジェストで事前に議題を告知をし、当日参加できない組合員からも意見書という形で声をあつめ討論の参考意見をとって提示いたしました。

組合員還元企画「サマーパーティ」について

毎年、夏の恒例、組合員還元企画「サマーパーティ」を行いますが、現状として一部の組合員や学生委員の参加がほとんどを占めています。すべての組合員が参加したくなるサマーパーティを討論しました。

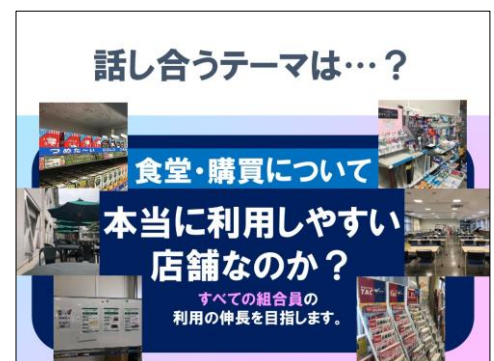
討論では実際にたくさんの意見がだされました。「地域交流棟でもやってほしい」「タイムスケジュールをわかりやすくしてほしい」など、実現可能なものは今年のサマーパーティで実際に形にしております。ぜひ、ご参加お待ちしております！



食堂・購買について

毎日利用される食堂や購買ですが、2019年度の方針にもあったように更なる利用を伸ばさせるためには今よりも利用しやすく、便利であるべきという思いからこの議題に設定されました。

この討論では予想をはるかに超える声が届きました。現在、この討論の結果から理事会で議論が展開されています。集まった声を反映しすべての組合員にとって便利な店舗をめざしていきます。



奈良生協はこれからも組合員の声をもとにした活動を行ってまいります。今回の意見書だけでなく日常的に「県大声」で意見、要望を集めております。ぜひあなたの声をお寄せください、

奈良生協学生委員会アカウント

生協のお知らせを発信しています！
フォローお待ちしております！



Twitter
@NPUCOOPGI



instagram
@npuseikyuougi